

Weighted Regression 1980-2010”, 福田主任研究官がセッション “Marriage Markets and Assortative Mating” にて “The New Socioeconomic Marriage Differentials in Japan” との報告を行った。

年次大会の開催に先立ってサイドミーティングが開催されたが、筆者らは国際的な出生データベースである HFD (Human Fertility Database) のミーティングに出席した。ここでは、HFD 発足の経緯やデータベースの利用方法の紹介、実際にデータベースを利用した研究のプレゼンテーションなどが行われ、最後は HFD プロジェクトの今後の方針について参加者の間で議論が交わされた。

(余田翔平 記)

## 日本アフリカ学会第52回学術大会

2015年5月23日(土)・24日(日)に、愛知県犬山市犬山国際観光センター・フロイデにて、日本アフリカ学会第52回学術大会が開催され参加した。本大会では口頭発表95件、ポスター発表が12件あり、参加者は約350名であった。

筆者は、「アフリカの人口高齢化：健康・生活・ケアの現在と未来」と題するフォーラムに参加し、「アフリカにおける障害と健康寿命—センサスデータを使って」という報告を行った。アフリカはいまだ出生率が高水準であるため、高齢者割合の増加のスピードは遅いが、今後の高齢者の絶対数の増加はアジア・ラテンアメリカと同程度の規模であり、医療・介護制度の拡充など課題は大きい。またフォーラムでの意見交換などを通じて、アフリカにおける、高齢期以外の障害、つまり先天障害や交通事故、戦争により生じた障害や、精神障害についての研究が、現在数多く進行中であることが判明した。アフリカ学会のような地域学会では、多分野の研究者が集まり、新たな知見が得られ、有益である。

(林 玲子 記)